



問 サイクリングコースを設定できないか

答 安全確保の点からも実現は難しい

問 ここ数年スポーツとして自転車ブームで、健康増進などにも自転車の利用を楽しむ人を多く見かける。そこで本町でも、サイクリングコースの設置ができないか。

町長 自転車利用を促進することは、健康づくりを促進する効果が見込まれ、二酸化炭素を排出しない移動手段として環境保全に対する意識向上にも結びつくものとして有望な施策になり得る。

しかし、町内の幹線道路は自転車レーンが整備されておらず、自転車の通行に適した道路環境とはいえない。

こうした中で、サイクリングイベントを開催することは、コース設定が容易でなく、特に狭い道路をコースに含める場合は、事故を防止するための歩行者の安全確保が大きな課題となるため実現は難しい。

問 サイクリングコースがすぐ作れないのであれば、サイクリングができるようなマップづくりだけでもできないか。



企画課長 平成25年度に実施した大木町における景観及び土地利用に関する検討報告書の中で、町内外の人が集まり、にぎわいと活気を感じさせる施策として、駅、学校、道の駅などの公施設や鎮守の森などを結ぶ歩行者・自動車交通のネットワーク整備が掲げられている。今後のまちづくり及び土地利用のあり方の検討を行う上で、歩行者・自転車道のインフラ整備は、考慮すべき事項になると考えている。また、町のマップを希望される人には、当面、町のパンフレット等に掲載している案内図を印刷、もしくは改良して配布したい。



パンフレット掲載地図

問 安全・安心のまちづくりの観点から、道本地区及び上八院地区に橋幅が道路の幅より狭いところがある。改修の計画は。

建設水道課長 橋の幅が道路の幅より狭くなっている箇所は、地元行政区からの事業要望のみならず、接続する道路の整備状況や利用の実態、さらに、橋梁長寿命化修繕計画などを踏まえ、今後計画的に橋の改修を進めていく。

建設水道課長 道路がひどく、橋が狭くて危険な箇所もあり、実態を調査して具体的な計画をしていきたい。また、緊急に改修する部分は、早急に予算要望していきたい。

問 今後、計画的な改修を進めていくということだが、いつ改修されるか。具体的な回答を願いたい。